



令和元年9月2日発行 第5号 生徒数 600名

上青木中だより

凡事徹底

～当り前のことが当り前にできる生徒・学校・教職員～

夏の体験を通し、更なる飛躍へ・・・

「上青木中の力を見せる！」2学期スタート

校長 小野 毅

44日間にわたる夏休みも終え、2学期がスタートしました。連日の猛暑の続く8月でしたが、上青木中の生徒たちの元気な声が学校に戻ってきました。生徒たちが明るく、さわやかな笑顔で始業式を迎えられたことが何といても一番です。また、家族そろって楽しく充実した夏休みの体験が、子供たちを心身ともに大きく成長させたことと思います。

夏休みに入りすぐに、県学校総合体育大会がありました。本校からはソフトテニス、陸上競技、水泳競技、男子バレーボール、柔道、剣道、相撲が出場しました。どの競技も熱い戦いを見せてくれました。そして見事、陸上1500mで林凜華さん(3年4組)、水泳飛込みで関口麻耶さん(3年5組)が全国大会に出場しました。関口さんは飛板飛込みで5位という素晴らしい成績を収めました。精一杯最後まであきらめずに力を発揮してくれた皆さんに心より拍手を送りたいと思います。また、吹奏楽部が吹奏楽コンクールにおいて、南部地区大会で金賞を受賞し、県大会に駒を進め、県大会においても金賞を受賞し、西関東大会(9月7日前橋市で開催)への出場を決めました。たくさんの感動をありがとう。

猛暑の中、開催された第101回全国高等学校野球選手権大会も大阪府代表・履正社高校が全国3,730校の頂点に立ち、昨年に引き続き、大阪府代表校による優勝で幕を閉じました。そんな中、印象に残った出来事が2つありました。1つ目は、星稜高校のゴミ拾いです。控え部員が球場周辺をユニフォーム姿でゴミを素手で袋に入れていました。1年生だけでなく3年生も一緒になって行っていました。試合に出場する選手だけでなく、控えの選手も自分にできることを考えた立派な行動です。2つ目は、準々決勝 星稜—仙台育英での仙台育英の選手が対戦相手である星稜高校の投手に水分補給を促したことです。7回99球目を投げた星稜高校の投手の右手首がすり、投球できなくなりました。その時、対戦相手である仙台育英の選手がたまたま自分で飲もうとしていた水を駆け足でマウンドまで持っていき、水分補給を促しました。マウンドで二人が笑顔で会話する光景が目に焼き付いています。相手チームをリスペクトした素晴らしい光景でした。

2学期は、体育祭、合唱祭、新人戦、市内駅伝大会、埼玉県体力課題解決研究発表会等、たくさんの学校行事があります。一つ一つの行事に真剣に取り組み、協力し、達成感を味わってほしいと思います。今学期も学校・家庭・地域が一体となって「上青木中の力」を発揮したいと思えます。皆様のご理解とご協力、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。